

有形文化財 重要文化財(建造物)／国指定

くろしまてんしゅどう

## 黒島天主堂 [C-12]



黒島教会の主任司祭だったマルマン神父が設計し、信徒の献金と労働奉仕により明治35年(1902)に完成した煉瓦造教会堂。ロマネスク様式の外観をもち、間口16m、奥行き35mの規模がある。基礎には黒島御影石を用い、祭壇床には有田焼のタイルが貼られている。内部には6対の東ね柱が並び、リブ・ヴォールト形式(こうもり天井)の天井や東ね柱に見られる木目は手描きされたものである。フランス製聖人像をはじめ説教壇やアンゼラスの鐘など、備品も当時のものが保存されていることも注目に値する。



**住** 佐世保市黒島町3333

**TEL** 0956-24-1111

**P** あり

**交** 黒島港

**案** ガイド要申込／  
黒島地区史跡保存会  
0956-56-2765

**休** —

